

令和3年度しらぎく幼稚園学校関係者評価表

令和4年3月4日

学校関係者評価委員会

保護者5名

幼児教育関係者2名

学校自己評価に基づき下記の通り関係者の評価とします。

本年度の重点的に取り組む目標について

1 自園の園の教育目標を取り入れた保育計画を立てて保育を行うことができたか。

A 4 B 3 C 0 D 0

- ・ 子どもを主体とした保育への転換が示されてから、職員のみならず保護者の理解も進んでいると評価できると思います。行事も子ども達が主体となり考えて進められていることがアクティブラーニングであり、小学校に行った時の学びに向かう力が育まれていると感銘いたしました。園長先生も今後の課題とされている職員自身の主体性が進み保育が更に充実されることを期待いたします。
- ・ 行事を撤廃するという園長のお考えに当初、保護者からの反発は大きかったものの、毎年行われていた各種行事が「やらされる」から「自分で考えたものを形にする」という変化を踏まえて開催されたことは大変うれしく思う。
- ・ 年長パレードの保護者観覧ができたことはうれしく思うが、当日気温が高く保護者入れ替えのため、子どもたちが2回公演しなければいけなかったことは、子どもの体力を考えると時期をずらすなど配慮の余地があったと感じる。

2 コロナウイルス感染予防の実施。

A 4 B 3 C 0 D 0

- ・ 大規模園でありながら、クラスター等の発生もなく運営が行われているのは日々の職員の皆様の感染症対策の努力の結果と拝察させていただきました。
- ・ 園児に感染者が出た際に、迅速に知らせて頂けたことは感謝しているが、当該園児の最終登園日を知らせて頂けたら、より安心して登園させることができたと思う。園児の特定を防ぐ観点から難しかったのかもしれないが、今後、検討して頂けたらと思う。
- ・ コロナ流行から2年は経っているものの、常に状況は変わっているので、園の対応もその時の状況を見て動けばいいと思うので、現状維持で問題ないのではないかと思います。行事等の日程も今は園の方針の中で最適な対応をして下さっているのが有難いです。

3 自園給食、食育に対する取り組みについて。

A 5 B 2 C 0 D 0

- ・ 米作りを苗づくりから収穫、食すまでの一連の営みは園児達の貴重な体験となったと思います。このような実体験を通じ将来子ども達が食を選ぶ立場になった時にエシカルコンシューマニズムの考えを持ち行動できるようになれることを期待いたします。
- ・ なかなか経験することができない苗づくりから脱穀までを経験できたことは、とても良いことだと思う。今後も続けてほしい。
- ・ 田植え後、夏休みに入ってしまう、なかなか稲の成長を観察しに行くことができていなかったことが少し残念だと思う。
- ・ コロナが落ち着き、収穫した食材で簡単な調理をするところまで経験出来れば、さらに良くなると思う。
- ・ お魚やお肉について生き物であることを教える。家で豚さんやお魚を食べるんだよ、と話をすると「生きてるよ?」とキョトンとした顔をします。私の話でどの程度理解しているか疑問です。

4 自然保育について。

A 5 B 2 C D

- ・ 森のムツレ教育、川遊びを取り入れ、体験に留まらず自然の循環を学んでいる姿はまさに持続可能な社会づくりに向けたサステイナブル教育の実現であると感じました。質の高い教育の実現に向けた園長先生並びに副園長方の地道な努力を高く評価させていただきます。
- ・ ムツレ教室に加え川遊びができたことは、とても良い経験になったと思う。行事に使っていた時間がこのように自然とかかわる時間に替わると考えれば、行事が減ることもマイナスイメージになることはないと思うので積極的にアナウンスしていけばよいと思う。

本園の総合的な評価結果と今後の課題について

ドキュメンテーションについて

- ・ 「おうちえん」の活用により、今まで見えにくかった園での生活が分かりやすくなった。

職員の労働環境について

- ・ 先生方の労働時間に関してですが、担任の先生をはじめ他のクラスの先生達がものすごく連携がとれているなど普段から感じているので、子ども達が帰宅した後に先生同士で沢山話し合いや情報共有をして下さっているんだろうと感じます。なので、どうしても帰る時間が遅くなっ

てしまったりするのではないのでしょうか？流石に関係ない話をダラダラするのは良くないと思います。それに関しては園長先生はじめ歴の長い先生方が若い先生に伝えていけば解決する事だと思います。

- 先生方は本当に子ども達のことをしっかり見てくれていますし感謝の気持ちしかありません。他園に通わせている親御さんと話をすると「しらぎくに通わせたくなるくらいうらやましいな」とかなりの回数いわれてきました。なので、先生達の頑張りは沢山の親御さんに伝わっているので、質をよくしなければ！とプレッシャーを感じるのではなく、でも現状に満足しすぎず、先生方の良い所をたくさん磨いてもらって、子ども達同様のびのびと楽しく業務に取り組んでいただけるといいのかなと思います。
- 園の先生方には子育てをする中でとても支えられてきたので、本当に何度も救われました。なので、大好きな先生方が色んな意見によって落ち込んだり、プレッシャーに押し潰されそうになりながら仕事して欲しくないです。そうならない為にも今よりもっと良い職場環境になるように応援しています。

その他

- 頭ジラミや胃腸炎が流行したときに家庭での対処方法を配布して頂けたことは、大変ありがたかった。
- コロナ禍で観劇や音楽鑑賞などがなくなり、芸術に触れる機会がなくなったことは残念に思う。
- クラス役員がなくなり、保護者の考えや思いが園に伝えるにくくなったと感じる。小さな疑問などその都度確認するのは少し遠慮してしまう。例えばこの学校評価を全世帯に配布し(提出は自由)保護者からの意見を聞く機会を設けるなど、検討されてはどうか。
- 保護者の方から先生方の作業のお手伝いを募ったらという意見が出ていました。小学校でも「Line Works」というアプリでお手伝いボランティアを登録して募集しています。統計する事務仕事が増えることになるかもしれませんが、活用できるのではないかと思います。
- 保護者代表の委員さんから活発に意見が出ていました。園長先生方の傾聴される姿勢、そして効果が高いと思われるものについて普段から即対応されているからこそその姿だと感じました。
- 一方で、今回の評価委員会の評価項目からは少しそれた内容の意見も出ていました。保護者の方にとってはちょうどいい機会だったのでしょう。
- 行事後にアンケートを取る、(コロナが落ち着いたときに)学級懇談会を実施するなど、保護者の思いや意見を共有する機会があるといいのかもしれない。
- コロナ禍でリモート会議等も広まっている為、実際に他園に行かなくても保育の様子の見学や、他園の保育について聞くことが可能になってきていると考えます。